

学校名 中種子町立岩岡小学校

項目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	中種子町は、種子島の中央に位置しており豊かな自然に恵まれている。町の西側にある長浜海岸は約12kmに渡って砂浜が続き、ウミガメの上陸地として知られている。長浜海岸南端に近い岩岡小学校では、長年に渡って「ウミガメ学習」に取り組んでおり、身近な海岸で生まれるウミガメの孵化活動をとおして生命尊重を学んできた。近年では、ウミガメが安心して産卵できる環境づくりの一環として海岸に漂着したプラスチックごみの回収に取り組んでいる。
2 受賞候補校等の活動状況等	<p>長年に渡ってウミガメの生態を調べ、高波で流出するなど、自然のままでは孵化が見込めない状況の卵を回収して孵化させる保護活動に取り組んできた。</p> <p>令和4年4月に環境教育の観点から活動を見直し、ウミガメが上陸・産卵しやすい条件を整えるために、海岸に漂着したプラスチックごみの回収活動を始めた。専門機関から講師を招いて助言を受けながら、地域との協働活動も始め、現在に至る。</p>
(1) 活動の動機・頻度	総合学習「ウミガメ学習」 活動名「SDGsデー」 <ul style="list-style-type: none">身の周りの環境に关心をもち、環境を大切にするために行動しようとする姿や、ウミガメが上陸するふるさとの海を大切にする気持ちを育成するための活動である。
① 活動を始めた動機及び開始年月	年間11回(毎月1回)
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	長浜海岸の屋久津地区
③ 月間又は年間活動回数	
④ 活動のエリア	
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	全児童・全職員及び地域住民25~30名
⑥ 活動1回当たりの平均時間	約1時間
⑦ 収集物の処理	<ul style="list-style-type: none">海岸での収集(主にプラスチックごみ)学校で余分な砂を落として洗浄し、種類別に分別町が提供した回収用袋に仕分け町による回収・処分

項目	活動内容等
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 「ウミガメ学習」を通して、海岸に漂着したごみが子ガメにとって命に関わる障害となることを学び、自分たちの散乱防止活動が、環境を守っていることを実感させることができる。この活動に参加希望する児童を1年間受け入れる「うみがめ留学制度」があり、全国から来た留学生と共に学んでいる。 令和7年度からは、種類別に分別したプラスチックごみの量を数値化したり、そのプラスチックごみを活用した作品を作ったりして、地域や観光客への啓発を図っていく。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	<p>海岸のごみの量は膨大であり、児童による収集だけでは十分に環境改善することはできない。長浜海岸に来たサーファーや観光客に向け児童が制作した環境保護を訴えるポスターが環境保全を啓発している。</p> <p>また、当校の活動が町内他校にも波及しつつあり、他校との交流学習や合同学習も積極的に取り入れている。</p>
② 地域住民との協力活動	毎年10月に、地域学校協働活動の取組の一つとして、地域と合同で海岸清掃を行っている。
③児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	児童の活動の様子を聞いたり、児童作文を読んだりした保護者や地域住民の環境問題への意識が高まりつつある。より多くの方々に取組を伝えていくために、児童が「SDGs デー」や「ウミガメ学習」活動のリーフレット等により発信している。
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>「身の回りの環境に关心を持ち、環境を大切にするために行動できる子供の育成をめざす」ことが当校の環境教育の目標に挙げられており、「SDGs デー」は環境教育の一環である。</p> <p>児童は、活動の様子を日記や作文にまとめて振り返りを行っている。毎年、環境についての発表活動も取り入れている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>活動により、児童が長浜海岸のごみの多さや環境の悪さを実感することができた。</p> <p>作文や日記の内容に、人工物のごみが多いことやごみがどの国や地域から漂着しているのか等、より具体的で実感の伴う文章や記述が増えている。ごみと海流の関係を調べ、どこから来たごみであるかレポートを書いた児童もいた。全児童が砂浜の環境保全のための清掃活動の必要性を実感している。</p>

項目	活動内容等
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会ボランティア活動の推進 ・朝の児童会による環境美化活動 ・牛乳パックのリサイクル活動
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	特になし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成時に検討し、年間指導計画の中で時数と日程を確保している。 ・「授業時数として、生活科（1・2年）と総合的な学習（3～6年）で算定している。
3 その他特記事項	かごしま水族館の柏木専門員を講師として招き、児童向け、職員向けの研修会を毎年開催している。最新の研究成果に基づき、活動を推進することができた。

(散乱防止活動用)

参考資料

学校名 中種子町立岩岡小学校

説明等	写真
アカウミガメ上陸跡	
アカウミガメ産卵場所の観察學習	
SDGs デーの取組（海岸清掃）	 

SDGs デーに回収したごみ



児童作成の標語・ポスターの看板を立て、環境保護の啓発活動実施



かごしま水族館の柏木専門員を招いてウミガメの生態や環境との関わりについて、児童の学習会及び職員研修会を開催

